

令和8年第2回江府町議会3月定例会(第2日)

令和8年3月5日 午前10時 開 議

議 事 日 程

日程第 1 町政に対する一般質問

質問者 川 端 登志一

1. 「人権学習を深め一步先ゆく明るく楽しい町づくりのために」なすべきことを問う。
 - (1) 近年人権に係る研修や行事（小地域懇談会など）の参加人員が減少している。人権意識低下の兆しではないか、町長の所見を伺う。
 - (2) 「江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」の第1条の（目的）に鑑み何らかの行動を起こすべき時と思うが町長の所見を伺う。
 - (3) 町民及び職員の研修や講習を含む人権の学習機会は十分と考えているか。
 - (4) 「江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」の第2条（町の責務）を果たしているか。
 - (5) 同推協・町・教育委員会発行の「あかるいこころ」に掲載の「人権・同和問題啓発標語」をはじめ、その他の内容は学園の人権教育に活用されているか。
 - (6) 同冊子の町民に対しての活用状況は如何様であるのか町長の認識を問う。
 - (7) より明るく爽やかな町を目指し、相乗効果として移住定住者や関係人口を増やすためにも、今以上に「人が人を呼ぶ人権研修」や教育の時間を増やす考えはないか。
 - (8) 鳥取県西部地区同和对策協議会の会長として、また、町長として令和8年2月3日に受講した研修会の感想で、「差別をしないだけでなく、差別を許さない生き方を」が、しっかりと胸に響いたとしている。その想いは町民と共有すべきと考える。何時いかなる方法で町民に伝えるのか。

- (9) 同和問題の理解と解決こそが、あらゆる人権問題の根底からの解決策と位置付けて、研修や講習を実施することを提言する。このことについて町長の所見を求める。

質問者 芦立喜男

1. 町の基幹産業である農業について

- (1) 水田の暗渠排水を設置するための補助金増額について
- (2) 水田の暗渠排水の目詰まり解消に対する補助金の増額について

2. 奥大山プレミアム米の増産について

奥大山プレミアム特別栽培米の生産者と栽培面積を増加させるための積極的PRをしてはどうか。

3. 町の公共施設の解体について

日輪閣の解体はいつするのか、しないのか。

日輪閣以降、山村開発センター、特産品研究加工施設、旧明倫小学校の解体計画はあるのか。

1. 1月6日に発生した地震対応について

1月6日に発生した地震については、幸いにも本町において大きな被害の報告はなかったが、今回の地震対応については、江府町地域防災計画や関係マニュアルに基づき、初動体制の確保や情報伝達等が行われたものと認識している。災害対応において、事前の計画に沿って行動することが重要である一方、実際の災害対応を通じて得られた課題や改善点を整理し、計画へ反映させていく「検証と見直し」の積み重ねが、今後のよりの確な対応につながるものと考えている。

今回の1月6日の地震における当日の対応について、

- ① 初動体制や情報収集・伝達、職員配置などの点において、検証は行われているのか。
- ② その検証結果を踏まえ、地域防災計画や関係マニュアルについて、より実践的で行動に結びつくシナリオとなるよう修正・改善を行っているのか。
- ③ 併せて、今後の災害対応に向け、経験の蓄積や職員間での共有をどのように図っていくのか。

2. 森林整備の推進について

江府町には豊かな森林資源があるが、町内の人工林の多くが、近年、十分に手入れされていない状況が見受けられ間伐等の管理が行われず、木が密集したままになっている箇所が多く見られる。このような人工林は、木が細く弱くなり、強風や大雨の際に倒木しやすくなり、また、地表に日光が届かないため下草が育たず、雨が降ると表土が流れやすくなり、土砂災害のリスクも高まる。

人工林の管理不足は、災害リスクの増大、獣害の深刻化、水源環境の悪化など、町民の生活に直結する問題であり、森林をどう守るかが、今後の大きな鍵になると考える。

江府町特定居住促進計画において、「奥大山農林業センター」を創設する構想が示されている。また、令和7年度の行財政方針の中で、「観光から環境へ」というキャッチフレーズのもと、自然環境を軸にしたまちづくりへと政策の重点を移していく、という強い意思が示されたものと受け止めている。

さらに、本町には、令和7年3月に江府町森林整備計画が樹立されており、今後の森林整備や林業施策の方向性が示されている。

「特定居住促進計画による奥大山農林業センターの創設」「森林整備計画」、そして町長の掲げる「観光から環境へ」という方針が、しっかりと一本の線につながり、施策として具現化されていくことが重要であると考えます。

- ① 町内の人工林について間伐を軸とした森林整備を進めていく考えがあるか。
- ② 江府町特定居住計画に示された奥大山農林業センター創設の進捗状況及び今後の展望について
- ③ 江府町森林整備計画を実行する上での奥大山農林業センターの役割及び関与の在り方について
- ④ 行財政方針「観光から環境へ」と林業施策との整合性について
- ⑤ 今後の林業施策推進体制及び中期的な計画について

1. コミュニティパークについて問う

計画の見直しを求め質問する

- (1) 安全：国道沿いという立地に対する安全は十分に検討されているか。万が一、交通事故が発生した場合、設置運営者である町に責任が生じる可能性について、見解を伺う。本当に安全で誰もが安心できる接道計画を求める。
- (2) 理念：単なる保育園ではないこのパークの何が、児童の健全な心身の発達につながるか。その実現のために、誰が何を、どの会議体で決定するのか。その際、現場の保育士の意見はどのように反映されるか、伺う。
- (3) 複合用途：保育園と交流公園を融合させるコンセプトと設備が高額な事業費の要因とのことだが、それぞれ敷地を分けて計画すれば適正な水準になるのではないかと、伺う。
- (4) アクセス：町内に住む高齢者・休日の子どもたち・放課後の生徒はどのような手段で来場する想定か、伺う。
- (5) 事業費：概算14.5億円に含まれる費用と、含まれない（既に執行した）費用の内訳について。また採択された地方創生交付金の採択額はいくらか。用途変更や財産処分への制限はないか、伺う。
- (6) 合意形成：これまでにない予算規模の事業だが、町民の賛同は得られていると認識しているか。最少の経費で最大の効果を上げる事業と言えるか、伺う。

2. まちの本屋について問う

町民による町民のための事業となるよう質問する

- (1) 事業内容：現時点で本の販売・飲食の提供・交流の促進、これらに優先順位を定めているか、伺う。
- (2) 業態の自由度：当事業は地方創生交付金等を受けているか。または受ける予定か。運営受託者は業態・間取りの変更は可能か、伺う。
- (3) 合意形成：事業に対しては経営の難しさや間取りの不合理やトイレ不足などのさまざまな意見があるが、このような町民や事業者の声をどのように計画に反映してきたのか。今後どうするか、伺う。